

令和 5 年 4 月

発行人：中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所



東京 PCB 廃棄物処理事業だより (No.73)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和 5 年 1 月～3 月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1 月～3 月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0 台	3,799 台
コンデンサ類	167 台	85,125 台

* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成 25 年 6 月に処理を完了いたしました。

令和 5 年度事業所方針

4 月 3 日、年度初めにあたって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転会社の東京環境オペレーション(株)社員に令和 5 年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の囲み)。

令和 4 年度に計画的処理完了期限が安定操業を維持し確実な処理を進め終了した。令和 5 年度からは、事業終了準備期間となり、事業終了に向けて様々な変化が見込まれるが、全てにおいて「安全」を最優先に取り組むこと、施設の維持保全計画に基づき設備の健全性を維持し、発覚される処理対象物を計画的かつ確実に処理し「PCB 廃棄物の早期処理完遂」を目指すこと、更に、その先にある次の大きな目標として「施設内の高濃度 PCB を無くす」ことへの取り組みを全員で確認し実現することを誓いました。



事業所方針所長訓示

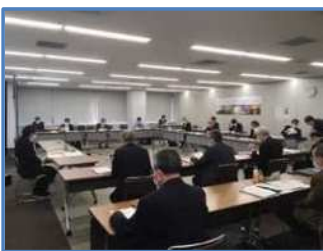
令和 5 年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全・確実な操業体制を確保し、信頼される操業を維持する。
2. 事業終了準備期間に発覚する処理対象物を計画的かつ確実な処理を推進する。
3. 工程内処理残渣及び運転廃棄物の保管量を低減する。
4. 施設の維持保全計画に基づく設備保全により、設備の健全性の維持に努める。
5. 解体撤去に向けて、操業中から実施する準備作業の検討・実施に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

東京 PCB 処理事業部会を開催しました

3 月 9 日、JESCO 本社を会場とし、会場および Web 参加にて 2022 年度第 3 回東京 PCB 処理事業部会(主査：永田勝也 早稲田大学名誉教授)を開催しました。



東京事業部会

部会の概要は以下のとおりです。

議題 1 として、東京 PCB 処理事業所 2022 年度下期の操業状況

議題 2 として、東京 PCB 処理事業所今後の処理見通し

議題 3 として、「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」の策定

議題 4 として、2022 年度の設備保全実施項目と 2023 年度の設備保全予定項目

議題 5 として、2022 年度内部技術評価の結果報告と所見への対応

議題 6 として、リン含有 PCB 油前処理設備の先行解体に関する文書(以下参照)の策定

- 1) 「リン含有 PCB 油前処理設備の洗浄等報告書」
- 2) 「リン含有 PCB 油前処理設備の PCB 付着状況調査結果報告書」
- 3) 「リン含有 PCB 油前処理設備の PCB 除去分別計画書」

議題7として、安定器等処理設備予備洗浄装置の先行解体に関する文書(以下参照)の策定

- 1)「安定器等処理設備予備洗浄装置の洗浄等計画書」
- 2)「安定器等処理設備予備洗浄装置のPCB 付着状況調査計画書」

議題8として、2023年度 東京PCB処理事業部会の開催時期・議題等について説明しました。
今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月30日、ホテルイースト21東京を会場とし、会場およびWeb参加にて第48回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(委員長:森口祐一 国立環境研究所理事)を開催しました。



環境安全委員会

委員会の概要は以下のとおりです。

議題1として、東京PCB処理事業所2022年度の処理・設備保全の状況及び今後の処理見通し

議題2として、東京PCB処理事業所PCB廃棄物処理施設の解体撤去の進捗状況等について報告しました。

会議では、事業終了に向けた今後の処理について、ご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。
(https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_45_00016.html)

PCB処理施設解体撤去情報

当事業所では3月末にPCB廃棄物の計画的処理完了期限を迎え、本年度より事業終了準備期間に入り、令和8年度から始まるプラント設備の本格解体撤去に向けて、準備を進めています。

昨年度までにリン含有PCB油の処理を完了し、「リン含有PCB油前処理設備」については不要設備になったことから先行解体を予定しています。

同設備の高濃度PCB付着箇所を低濃度PCB以下まで低減させる除去分別の準備作業として、4月より設備の保温材の撤去作業を実施しています。

6月以降に、最初に配管等を取り外して、洗浄設備等によって除去分別を実施します。その後、タンク類の除去分別を行い、令和5年度中に解体撤去を完了する予定です。

解体撤去に関する情報につきましては、本事業だよりで定期的にお知らせするとともに、当社ホームページでも随時ご覧いただけるよう準備してまいります。



保温材撤去前のタンク

第4四半期(1月-3月)施設見学状況

1月から3月までの間に、企業等4団体50名に施設見学にお越しいただきました。

	1月	2月	3月	計
団体数	1団体	1団体	2団体	4団体
見学者数	7名	11名	32名	50名



★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下のJESCOホームページからご覧頂けます。
(<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>)



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号
TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京 PCB 廃棄物処理事業だより (No.74)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和 5 年 4 月～6 月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4 月～6 月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0 台	3,799 台
コンデンサ類	0 台	85,125 台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成 25 年 6 月に処理を完了いたしました。

令和 5 年度東京 PCB 廃棄物処理施設の定期点検を実施しました

令和 5 年度定期点検を 5 月 15 日から 6 月 19 日の 36 日間実施しました。

期間中はすべての設備を停止して必要な法定点検と施設の安全と安定操業を維持するための様々な検査・点検・整備工事を行いました。

◆ 安全大会及び中間安全大会の開催

定期点検開始日の 5 月 15 日に安全大会を、また、定期点検中盤の 5 月 31 日に中間安全大会を開催しました。

JESCO 事業所長による安全訓示、工事元請責任者による安全宣言などで工事に対する注意喚起と安全意識の高揚を図りました。

定期点検期間中は JESCO、運転会社、ならびに協力会社が一丸となり、安全最優先で点検工事を進め今年度も無事故・無災害で終了することができました。



定期点検安全大会



定期点検中間安全大会

令和 5 年度全国安全週間の取り組み

◆ 安全大会の開催

全国安全週間（7 月 1 日～7 日）および当事業所における夏期特別安全活動期間（7 月 1 日～9 月 30 日）にあたり、7 月 3 日に JESCO および運転会社合同で、令和 5 年度安全大会を開催しました。

◎最初に JESCO 所長より以下の社長メッセージを伝達しました。

- ・JESCO の PCB 廃棄物処理事業では、各事業エリアで順次、処理が完了し、施設の解体撤去が進みプラント設備の解体・搬出等の非正常作業や 3H 作業（初めて・変更・久しぶり）が多くなる中、各地域の御理解の源にもなっている安全と安定操業の重要性を改めて認識することが必要である。
- ・これまでの安全活動を一人一人が振り返り、安全活動について周囲の方とも積極的に議論し、安全に対する意識向上やマンネリ化防止を図ることで、労働災害防止を目指す。

◎次に、JESCO 所長より以下の訓示を行い、所員一丸となって労働災害ゼロを継続することを呼びかけました。

- ・東京 PCB 処理事業所においては、休業災害は 2012 年 7 月 24 日を最後に 11 年ゼロ災害が継続しており、これは所員全員の安全最優先への取り組みの成果である。引き続き継続し発展して取り組む。
- ・96 回を迎える全国安全週間のスローガンに「安全行動」の表現は初めてである。作業行動に起因する災害防止の想いが込められたスローガンとなっている。
- ・当事業所では、「安全行動」のあるべき姿を逸脱する安易な行動は、組織にも個人にも無く、安全に対して高い取り組みが出来ているが、今後は、より配慮することによる災害防止への取り組みが必要である。
- ・作業（行動）する者、周囲の者、管理者などが、作業行動に対して周辺状況、作業内容、作業時間、作業

量、危険予知などをより深く協議する。言い換えると「仕事の環境を良くする」取り組みが重要である。

・より優しく、より無理なく、より具体的に作業を計画・準備、実施していくように、組織・個人で「仕事の環境を良くしていく」整えていくことで、安全を築いて行く。

7月からは、5月-6月の定期点検後、各設備を順次起動してプラント全体を稼働させる。新たな作業も見込まれることから、事業所全体のチームワークでゼロ災害職場を築いて行く。

◆安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の取り組みを行いました。

- ・7月3日（月）：安全大会の日（所内安全大会）
- ・7月4日（火）：保護員安全の日（保護員の点検清掃：自主活動）
- ・7月5日（水）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- ・7月6日（木）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫の5S：自主活動）
- ・7月7日（金）：同上（現場担当エリアの5S：自主活動）

産業医による熱中症講話

6月15日、JESCO社員および運転会社社員を対象とし、産業医（テレコムセンタービルクリニック 大矢院長）から熱中症についてご講話いただきました。

熱中症は環境に身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称であり、軽度のものから重度のものまで、段階的に変化する症状をわかりやすく説明いただきました。

また、熱中症は①環境②身体③行動のそれぞれに引き起こす要因があること、熱中症の疑いがある場合の対処方法と予防方法等様々な視点からご講話いただき、改めて熱中症対策の大切さを認識しました。



熱中症講話

PCB 処理施設解体撤去情報

当事業所では3月末にPCB廃棄物の計画的処理完了期限を迎え、本年度より事業終了準備期間に入りました。

リン含有PCB油の処理は昨年度中に完了しました。これにより「リン含有PCB油前処理設備」については不要設備になったことから、10月以降に先行解体を進めていくことで計画しています。

その前段として4月より設備の保温材の撤去作業を実施し、これに続き6月からは配管等を取り外して、高濃度PCBが付着する可能性のある範囲は、既設の洗浄設備等によって所内処理を行っています。

同設備の解体撤去は令和5年度中に完了する予定です。

また、平成25年に廃止した低濃度PCB処理施設のプラント設備の解体撤去工事を8月1日より来年2月29日までの予定で実施します。

解体撤去するプラント設備については、事前作業によりPCBの除去分別を実施し、該当性判断基準以下（非PCB汚染物）であることを確認しています。

解体撤去に関する情報につきましては、本事業だよりで定期的にお知らせするとともに、当社ホームページでも随時ご覧いただけるよう準備してまいります。



保温材撤去後のタンク

第1四半期（4月 - 6月）施設見学状況

令和5年4月から6月までの間、施設見学にお越しいただいた方はございませんでした。

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下のJESCOホームページからご覧頂けます。

(<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>)



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>

〈 受入室 着手前 〉



〈 受入室 着手後 〉 (現状)



○不要設備の解体撤去 (リン含有PCB油前処理設備)

昨年度中に処理が完了し設備内部の洗浄が完了しているため、今年度より配管等を取り外し、高濃度PCBが付着している可能性がある範囲は、既設の洗浄設備で処理を行っています。(継続中)

配管等を取り外した後のプラント設備解体撤去工事(設備の本格的解体工事)を計画しました。工期は11月から3月末までの間で予定し進めています。

リン含有PCB油前処理設備

〈 配管等を撤去後のプラント設備の状況 〉 (現状)



工程表

特例期間	事業終了準備期間		
	2022年度	2023年度	2024年度
リン含有PCB油前処理設備	洗浄	除去 分別	解体、 前処理・洗浄 有価売却、産廃/無 害化処理委託

工程表

特例期間	事業終了準備期間			
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
安定器等処理設備			除去 分別	解体、 前処理・洗浄 有価売却、産廃/無 害化処理委託
①予備洗浄設備	洗浄			
②破砕分別設備		付着状況 調査	除去 分別	解体、前処理・洗浄 有価売却、産廃/無害化処理委託

○不要設備の解体撤去 (安定器等処理設備)

設備は予備洗浄設備と破砕分別設備で構成され、予備洗浄設備は内部の洗浄が完了しています。

破砕分別設備は、付着状況調査を行っています。

環境報告書 2023 を発行しました

JESCO では、昨年度の事業活動に係る環境配慮等の状況をとりまとめた「環境報告書 2023」を9月26日に公表しました。

発行に当たっては、開示情報の信頼性確保のため、第三者審査を実施しています。

※『環境報告書 2023』は、当社のHPにも掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.jesconet.co.jp/company/environment/index.html#anchor03>



第2四半期 (7月 - 9月) 施設見学状況

令和5年7月から9月までの間に、スーパーエコタウン見学会の参加者、1団体13名に施設見学にお越しいただきました。

	7月	8月	9月	計
団体数	1団体	-	-	1団体
見学者数	13名	-	-	13名

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下のJESCOホームページからご覧頂けます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>